

私たち「地域おこし協力隊」です

地域おこしを手伝ってくれる人材が只見町に移り住みました。着任間もない隊員、すでに地域の方々と協力して活動している隊員がいますが、地域おこし協力隊（以下、協力隊）はどんな人たちなのか、只見町にどのような思いを持っているのか。今回の特集では只見町で活躍する隊員たちの素顔を紹介します。

地域おこし協力隊とは

平成21年度に総務省が創設した制度。人口減少や高齢化などの課題を抱える地域が、都市部から人材を受け入れ地域活性化に取り組みます。原則1～3年間、地域に移住し、農林水産業や特産物を活かした商品開発、交流の場づくりなど活動は多岐にわたります。

只見の春の美しさ！
桃源郷に來たのかと思いました



り え
中田 理恵さん

- ▷出身：静岡県
- ▷任期：令和8年5月～
- ▷担当業務：只見ユネスコエコパーク事業
- ▷趣味・特技：ゆっくり歩くハイキング、季節の農産物を使った加工品作り

以前から只見町ブナセンターのイベントに参加していました。その際、地域の方々が本当に楽しそうに町を紹介してくださり、その只見愛に感銘を受けました。只見町の人と自然に惹かれて、協力隊に応募しました。

趣味はゆっくり自然を楽しむハイキングです。先日は蒲生岳に登って、急斜面と岩場に驚きました。また、黒沢のあがりこ型樹形のナラにナラ枯れ防止薬剤注入作業をしました。道中は道のりが険しく、草木をかき分けながらやっとの思いで作業しました。只見は自然が豊かですが、厳しい面もあり、その中で人知れず仕事をしている人たちがいて文化が守られていくのだと実感しました。

地域を歩き回って情報収集していますので、見かけた際はお声がけください。

「誰かが見つけてあったかい気持ちになるもの」を作っていきたいです



ゆ き ね
佐藤 雪音さん

- ▷出身：福島県国見町
- ▷任期：令和7年12月～
- ▷担当業務：町のSNSやホームページでの情報発信、町民インタビューなどの取材
- ▷趣味・特技：旅行とパズル

初めて訪れたのは大学院生のときです。農村の研究をしていて、（町の皆さんには申し訳ございませんが）福島県で一番住みづらいところを考えたときに、只見町かなと思って来ました。良い景色と『『自然首都・只見』伝承産品』に興味を持ち、只見町を研究することにしました。それから多くの町民の方に出会い、お世話になりました。

その後、民間企業に就職しましたが、退職して協力隊として移住しました。雪が心配でしたが、町民の方は雪に慣れているし、それに楽しんでいる方に出会えて、今年の冬は皆さんのおかげで乗り越えられました。

今は交流推進課に所属して、町のSNSやホームページを運営して情報発信をしています。



只見町公式Instagram
ただみ暮らし



只見町公式note
暮らしと移住



只見町ブナセンター
公式Instagram



只見町ブナセンター
公式ホームページ

遊びと学びは表裏一体。生徒たちと「面白い」ことを追求したいです



味村 有果さん

- ▷ 出身：静岡県
- ▷ 任期：令和7年4月～
- ▷ 担当業務：心志塾講師、高校生の学習・進路支援
- ▷ 趣味・特技：只見の風土を楽しむこと、ドイツ語・原語で作品を読むこと

只見に移住し、冬には水墨画のような白銀の世界に、春には山々の色鮮やかさ、生命力あふれる自然の強さに感動しました。人々の人間的温かさ、距離の近さも感じています。美しさと同時に人間に脅威すら与える厳しい只見の自然は、人々がお互いに助け合う温かみあふれる文化をもたらしてきたのだと確信しています。

私は雪の降らない静岡の出身ですから、只見は私にとっての外国のようです。只見の言葉も勉強中です。世界には多様な価値観があります。外国語、異文化を理解するということは、自分の知らない価値観との出会いです。それは翻って自分自身の内面性を知ることにつながります。

心志塾では自分の心に耳を傾けること、そしてそれを表現することを大切に、子供たちと様々な学びを通して、ともに人間として成長していきたいと思っています。

本当に自然が豊かなところに行きたくて「ここだ」と思って来ました



味村 考祐さん

- ▷ 出身：大阪府
- ▷ 任期：令和7年3月～
- ▷ 担当業務：只見町公営塾(心志塾)講師、高校生の学習支援、進路活動支援
- ▷ 趣味・特技：読書(好きな作家は遠藤周作)

大阪で育ち、父母とスキーやキャンプを楽しんだことで自然に対する憧れがずっとありました。

子どもたちが安心して楽しく過ごせる場所、教育分野の仕事に携われる場所を探して、只見町に来ました。初めて来たときは町が雪で真っ白になっていて、5月に雪が溶けてやっとどんな町か分かりました。自然の豊かさ、大きさを知りました。

只見の人のあたたかさに敬服しています。人の思いや感謝の気持ちを大事にされる方たちがいて、その方たちのあたたかさにどう応えられるのか日々考えています。

今、心志塾講師として生徒たちに「学ぶ」面白さを伝えたいです。公式など基礎は面白くないところもありますが、基礎を身に着けると自由に動けるようになります。間違え、リトライすることで人は学ぶもの。何が違ったか知ることを「学び」というのだと伝えたいです。

只見町には「また帰ってきたくなくなる力」があると感じています



平松 結子さん

- ▷ 出身：富山県
- ▷ 任期：令和8年7月～
- ▷ 担当業務：只見駅インフォメーションセンターでの観光開発、観光ガイド
- ▷ 趣味・特技：ゴスペル、合唱、タロット、整体など

これまで国内外で生活し、只見町への引っ越しが通算16回目です。4年前に東京に移住して、観光開発会社に就職しました。只見町を紹介するオンラインイベントを開催し、町の魅力を届けてきました。

町を好きになってきた頃に、只見線全線再開通があり只見駅に行きました。列車を待つ間に町民の方からおにぎりをいただいて、とても美味しくて泣きながら食べました。人がとてもあたたかくて、いいところだと思っています。

東京の観光案内所でも働いていて、観光客に外国語で案内していました。将来は古民家での民泊をやりたいです。バックパックでも世界を回りましたし、色んな国で過ごしてお世話になったので、今度は私がおもてなししたいと思っています。



只見町インフォメーション
センター公式Instagram

地域を動かす、新たな視点

協力隊の皆さんが只見町の印象や暮らしてみていること、日頃考えていることを渡部町長に伝える懇談会を開催しました。協力隊の皆さんの町づくりに対する思いや町長からのメッセージをお伝えします。



►和やかな雰囲気得意見交換しました

町長…只見町に来ていただいて本当にありがとうございます。皆さんのような人材を只見町は必要としています。これまでも多くの方々のお世話になって、ご縁を大切にして町が成り立っているとはつきり思いますので、遠慮せずに色々ご提案ください。

中田…自然首都推進室の業務で山に分け入ると、かじご焼きの跡がありました。以前、町民の方から「子どもの頃は、秋に山の各地からかじご焼きの煙が立ち上っていた」と聞いたことを思い出しました。こういった仕事、只見町の文化や風土を守ってきたのだと感じました。平松…最近まで新宿駅の観光案内所で働いていて、外国人観光客の方とたくさん話してきました。彼らは只見町のことを絶対好きにな

ると思うのに、誰も知らないという。とてももったいないと思ったので、協力隊になってみました。只見町の持つストーリーは切り口があります。そういった町の姿が見えるガイドや発信をしていきたいです。

町長…皆さんには、只見町を塗り替えてもらいたいと思っています。不利・不便は改善しないといけないけれども、「自然首都・只見」といった守るべきところは守る、つなぐところはつなぐ。今、大きく町のブランドデザイン（目標を達成するために描く全体構想）を変える時期だと思っています。楽しく生活できて、みんなで見るとほっとするような町でありたいので、「こういう町に住みたい」と伝えてください。

活動中の協力隊の皆さん

- 1_おすめの木皿を紹介してくれた中田さん
- 2_取材中に小学生と触れ合う佐藤さん
- 3_商品の見せ方を工夫する平松さん
- 4・5_只見高校生に分かりやすく教える味村考祐さん、味村有果さん





▲これまでも、これからも、よりよい町づくりのために動いていきます

味村有…公民館以外にも、大人と子どもの居場所が増えると思うと思います。大きな図書館と開放された芝生の中庭、喫茶店や本屋、これらが一体化したような場所をイメージしています。どの場所でも本が読めて、ピクニックもできて、あらゆる世代間の交流ができる。こういう場所で只見町に残っている伝統や文化が共有されて、町の文化的な財産が増えていくのではないかと思います。

町長…只見駅前で飲食できたりお茶したり、今日駅前に行ってみない？という空間をこれから作りたいです。また、今ある公共施設を活用した交流スペースの整備も考えています。そういった中で、まさにいただいたご意見をどういう形でコーディネートできるか、挑戦したいと思います。

い研究があります。蓄積された知識を誰もが共有できる場所があれば、只見の自然を研究されている方もここにきて勉強できるのではないかと思います。

人間が勉強する上では座学に加えて経験も大切です。只見町は自然が豊かな上に産業や農業など社会活動も活発で、町全体が前を向いているところがよいと思います。そして、学びと一緒に実践もできる環境があり、教育の観点から魅力的に感じています。

また、図書館には蔵書がリストになるというよさがあります。リストを見ればその図書館がどれほど素晴らしいか分かります。図書館があることで、只見町は教育の分野でも力があつて、土台のあるところだと広く伝わると思います。

町長…本を読んだりさまざまな経験をしたり、そうした積み重ねで本当に内面から人になっていくと思います。そうした意味で大事なものは何か、きちんと残していく、そこに取り組んでいく姿勢に価値があり、魅力的な町として映ってくると思います。どこまでのものができるか分かりませんが、図書館を意識したものの整備を検討したいと思いました。

佐藤…最後に、今後のことはまだ考えられていませんが、今、情報発信をしていて「いつか誰かが見つけてあったかい気持ちになるものを作ればいいよ」と町民の方が言ってくださって。手探りではありますが、頑張りたいと思います。

それから協力隊定例会を始めました。こうして話すのは楽しいので、定期的には集まりたいです。これからもよろしく願います。